

# 野菜の栽培方法の違いを説明します。

	オーガニック野菜 (有機 JAS 認証)	無農薬野菜	慣行栽培野菜 (一般的な野菜)				
農薬	<p>化学的に合成された農薬の使用を避けることを基本とした農産物。 (JAS 認定 31 種類の農薬は使用可能)</p>	<p>生産期間中に全く使わない。ただ、公的機関で証明ができない為、一般的には「<b>育成期間中農薬不使用</b>」と表現されることが多い。</p>	<p>化学合成農薬を使用 (国内野菜の約 99%が慣行栽培野菜)</p>				
肥料	<p>土の中で微生物の働きで分解されることで、植物が養分に吸収できるものを使用する。</p> <table border="1"> <tr> <td>動物性有機肥料</td> <td>植物性有機肥料</td> </tr> <tr> <td>牛糞、鶏糞、魚粉、骨糞など</td> <td>油粕、ぬか、珪藻土など</td> </tr> </table>	動物性有機肥料	植物性有機肥料	牛糞、鶏糞、魚粉、骨糞など	油粕、ぬか、珪藻土など	<p>有機肥料を使用。</p> <p>無肥料で育成する生産者もいる。</p>	<p>化学合成肥料を使用。</p>
動物性有機肥料	植物性有機肥料						
牛糞、鶏糞、魚粉、骨糞など	油粕、ぬか、珪藻土など						
特徴	<ul style="list-style-type: none"> <li>原材料に限りがあるために大量生産は難しく、その分価格は高め</li> <li>有機 JAS 認証を取得するには、労力と金銭負担が多い為、実際生産されていても、取得にいたらない生産者が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>育成期間中に病気・害虫の影響を受けやすい為、安定的な生産ができない、価格も高め。</li> <li>農薬散布の影響を受けない田畑が必要な為、育成場所が限られる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>工場で大量生産が可能のため、安定した品質のものが安価に手に入る</li> </ul>				

